

## 第4巻 PDF 読本



## 元東北本線（青森～仙台）

2024年3月7日 歩く鉄道作家 樫原 勉

<目次>

はじめに

第1章 元東北本線（青森～盛岡：営業キロ 203.9 km）・・・ 4

青い森鉄道（青森～目時：営業キロ 121.9 km）

IGR いわて銀河鉄道（目時～盛岡：営業キロ 82.0 km）

第2章 東北本線（盛岡～仙台：営業キロ 183.5 km）・・・ 4 5

## はじめに

本著書は「こだわり鉄道つたい歩き」シリーズの初刊（東海道本線）、続刊（東北本線（仙台～東京）・山陽本線・常磐線）、第3巻（宗谷本線・函館本線）に続き4作目の作品です。これまでの2作はいずれも書籍によるものでしたが、3作目である第3巻からは、種々の事情を勘案し、デジタル形態のPDF読本としました。本作品は檜原勉文庫（カッシー館ブログで閲覧可能）で通算13作目（国立国会図書館納本）となります。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春18きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

## 第1章 元東北本線(青森～盛岡:営業キロ 203.9 km)

平成 24 年 6 月 13 日 (水) ～6 月 19 日 (火)、下記の日程 (6 泊 7 日 : コンプラ休暇活用) で青森＝盛岡間の営業キロ 203.9km に挑戦する。このうち、青森＝目時間 (営業キロ 121.9km) が“**青い森鉄道**”、目時＝盛岡間 (営業キロ 82.0 km) が“**IGR いわて銀河鉄道**”となります。天気にも恵まれ、無事目標通り達成できる。今回はハードであったが、青森と八戸で友人にも会えて歩きに花を添えることができた。今回の歩きは達成感に加え、今後の人生を歩む上で大きな収穫を得たような気がする。例えば、戦略、闘争心といったこと。



### 第1節 旅プラン

<1 日目 : 2012 年 6 月 13 日 (水) > 晴れ

南林間 5 時 30 分 → 新宿 6 時 25 分

はやて 15 号 6 号車 12 番 A 席 (大宮発 7 時 58 分) → 八戸 10 時 40 分

特急券 5,600 円 東京＝八戸往復乗車券 16,820 円

八戸～下田 (11.1km) を歩き、電車で青森まで移動。(運賃 : 1,990 円)

青森 (地のまつり) で 19 時より大沼仁志氏と旧交を温める。東横イン青森泊。

<2 日目 : 6 月 14 日 (木) > 晴れ

青森 7 時 52 分 → 狩場沢 8 時 40 分 (運賃 : 890 円)

狩場沢～青森 (38.1km) を歩き、東横イン青森泊。

<3日目：6月15日（金）> 晴れ

青森 7時52分 → 狩場沢 8時40分 （運賃：890円）

**狩場沢～上北町（26.4km）**を歩く。

上北町 17時11分 → 八戸 17時41分 （運賃：680円）

19時より八戸（より道等）で深夜2時頃まで野々口博庸（ひろのぶ）氏と30数年振りに旧交を温める。東横イン八戸泊。

<4日目：6月16日（土）> 晴れ

八戸 6時18分 → 一戸 7時1分 （運賃：1,160円）

**一戸～八戸（43.4km）**を歩く。東横イン八戸泊。

大事な「こだわり鉄道つたい歩き」の旗ロスト。

<5日目：6月17日（日）> 曇り

八戸 7時38分 → 上北町 8時6分 （運賃：680円）

**上北町～下田（20.4km）**を歩く。

下田 16時4分 → 八戸 16時15分 （運賃：350円）

東横イン八戸泊。

<6日目：6月18日（月）> 晴れ

八戸 6時18分 → 一戸 7時1分 （運賃：1,160円）

**一戸～好摩（43.2km）**を歩く。

好摩 20時6分 → 盛岡 20時32分（運賃：630円）

東横イン盛岡泊。

<7日目：6月19日（火）> 曇り

盛岡 7時53分 → 好摩 8時16分 （運賃：630円）

**好摩～盛岡（21.3km）**を歩く。

はやて36号6号車15番C席（特急券：4,930円）

盛岡 18時7分 → 大宮 20時10分

## 第2節 1日目：2012年6月13日（水）：八戸～下田 晴れ

昨日はオール富国会があり、自宅には22時頃到着。概ねの支度をして就寝。睡眠時間は3時間半程度であったが珍しく熟睡でき、4時に起床。5時、昨日仕上げた「こだわり鉄道つたい歩き」の旗をデジカメに収める。総仕上げをして、家内に5時15分頃南林間まで送って貰う。そして、南林間発5時30分、新宿発6時25分の電車で大宮に向う。大宮には7時頃到着。



大宮（7時58分発）からは「はやて15号（6号車12番A席）」で八戸（10時40分）に向う。前10両（はやて）が新青森まで。後ろ6両（こまち）が盛岡で切り離し秋田まで。車両は上部グリーン系にピンクのライン下部ホワイトがある洒落た色合いであった。ホームの案内は、種々のタイプの車両が停車するので、複雑な表示となっていた。途中停車駅は仙台、盛岡、いわて沼宮内、二戸であった。これまで仙台までは東北新幹線を利用したことがあるが、八戸までの乗車は初めて。しかし、窓からの風景を楽しむことなく、あっという間に近代的な駅舎をもつ八戸駅（10時42分）に到着する。





八戸駅には「おんではあんせ」の表示があった。今回踏破する青い森鉄道の女性職員が八戸改札口前に立って「スマイル」で応対していた。駅は3階にあった。2層のエスカレーターで1階まで降りる。駅前の写真をデジカメに収め、陸奥市川に向け出発する。11時、厚生会館ビルを活用した青森ヒュームがあった。八戸駅には貨物の基地（八戸臨海鉄道株式会社）があり、JR 八戸線があり、陸奥市川への路は複雑であった。11時11分、道路工事をしている人が、誤って道筋を教えたと思い、私の後を追っかけてきてくれる。親切さに心温まる。JR 八戸線沿いを歩く。



JR 八戸線



下亀子谷地踏切

11時27分、下亀子谷地踏切を横切る。11時31分、新八温泉前を通過。11時35分、少し早い八菜館（JA アグリマーケット）で大好物のかき揚げそば（400円）食べる。塩味でとても美味しかった。この店の人に陸奥市川までの大筋の路を尋ねる。「少し歩くと4号線にぶつかります。その4号線を左折しなさい」のアドバイスを頂く。



11時52分、八戸中央青果前を通過。風林火山をもじった風林花山（ラーメン）があった。しかし、4号線にぶつかった先で、進路方向が複雑となり、レールウェイマップルで吟味する。その結果、先程教えてもらった進路を進む。4号線と青い鉄道が大きく乖離しているように感じたからである。このぶつかったところは、鉄道と反対方向に進むような地形であったこともあろう。12時10分、八戸市高館を通過。12時15分鉄道下を潜る。長く続く坂道を上る。12時22分、青森100km、十和田28kmの道路標識看板を目にする。この辺りで自分が陸奥市川に向っていることをやっと確認できる。



青い森鉄道



南部山公園

12時25分、南部山公園への案内板を見かける。12時36分、仙台まで416kmの看板を目にする。13時8分、現在気温13℃との表示板を通過。13時28分、国道から一般道に下りる。国道から500m位先に陸奥市川の駅舎が見えたからである。しかし、国道を下る道はなく、500m位この駅から遠くなることを余儀なくされた。ゆっくり坂道を下りる。すなわち、1km位行き過ぎる結果となる。県道8号線（八戸野辺地線）を逆方向に進む。13時31分、八戸市尻引を通過。白い駅舎の陸奥市川駅には13時42分到着。駅前には高い杉の木があった。先程の国道から下りた地点まで戻る。13時58分であった。



陸奥市川駅

14時、再度国道に戻る。交差点は市川西とあった。国道下を潜り、暫く国道下を歩く。14時12分、万歩計で65歩ある五戸川（五戸川橋）にぶつかり、国道4号線に戻る。15時、おいらせ町の看板を目にする。銀色の駅舎の下田駅には15時11分到着。この駅でアップ。駅前には飛行機か鶴のような記念碑があった。この駅には開業120年達成（平成23年12月10日）の看板があり、16時半までは駅員が滞在するとのことであった。当初、下田から青森までスイカーを使用できると思っていたが活用できない区間となっていた。青い森鉄道は、平成22年、新幹線が八戸から新青森まで開通となった際、「東北本線から青い森鉄道に名称が変わった」とのこと。私と同じ位の年恰好の駅員の恐縮している姿が強く印象に残った。



伏見稲荷神社



下田駅

下田からの乗車証明書（運賃：1,990円）を駅員さんから発行してもらおう。目標であった5.2km先の向山はダイヤの関係で断念する。本日、19時に大沼氏と待ち合わせていたからだ。向山駅（むかひやま）に16時24分までに到着できる自信がなかったからである。すなわち、5.7kmを73分で踏破するのは難しいと判断したからだ。順調に行っても90分は要するであろう。英断の結果、下田駅15時41分の電車で青森駅に向かうこと

ができる。その結果、青森駅到着時間が当初計画していた時間より 40 分程早まり、17 時 2 分となる。2 両編成のワンマンカーの車両であった。車両には杉をデザインした乗務員が取り付けられていた。下田駅からゆっくり景色を楽しみたかったが、うとうとする。



青森駅



浅虫温泉から女性のアシスタントが乗車してくる。青森市内の圏内に入ったのに加え、学生の下校時間帯とも重なり車内が込みかってくるからだろう。陸奥湾の西日が強く印象に残った。青森駅には 17 時 2 分到着。駅前の東横イン青森（206 号）には 17 時 22 分到着。シャワーを浴び、少し休息する。地のまつり（万国百菜）で 19 時から 22 時頃まで大沼仁志氏と旧交を温める。名物のホタテを中心に刺身や郷土の日本酒等を味わう。本日の営業キロは 11.1km、万歩計は 22,497 歩だった。充実した一日であった。



万国百菜にて



### 第3節 2日目：6月14日（木）：狩場沢～青森 晴れ

朝4時頃目が覚め、ipodの充電をホテルのロビーで行う。本日の作戦を練った後、朝食を済ませ、ホテルを7時半頃出る。



青森駅



そして、7時52分の電車で青森駅から38.1km先の狩場沢駅に向かう。東青森、小柳、矢田前、野内辺りまでは学生で車内は活気があったが、野内以降は電車ががらがらの状態となる。車内の路線図をデジカメに収めようとしているところ、青い森鉄道アシスタントの三津谷あゆみ氏に声をかけていただき、青い森鉄道沿線のパンフレットを頂戴する。その後名刺交換をさせてもらう。名刺によると、青い森鉄道は、「日本一長い第三セクター鉄道。目時＝青森間全長121.9km」とあった。青い森鉄道のイメージキャラクターは「モーリー」。杉の木をデザイン化してできたとのこと。浅虫温泉駅で数分停車する。下り電車と離合する。貨物列車が通過して行く。昨日に引き続き、「こだわり鉄道つたい歩き」の旗を持参して歩く。狩場沢駅には8時40分到着。運賃は890円要する。



狩場沢駅





陸奥湾

駅前から陸奥湾が見える。朝曇で海はどんよりしていた。この地点から東京まで 702km とあった。9 時 18 分、東京まで 704km 地点で秋田 236km、弘前 78km、青森 34km の道路標識を見つける。9 時 28 分、上口広バス停（下北交通）前を通過。浅虫温泉行きのバスダイヤがあった。7 時 10 分、14 時、16 時 40 分、18 時 46 分の日 4 便であった。9 時 47 分、陸奥湾の風景をデジカメに収める。ホタテの貝殻が近くに山盛りとなっていた。



陸奥湾



清水川駅

本日最初の清水川駅には 10 時 8 分到着。グリーン屋根が印象に残った。10 時 12 分、青空保育園前を通過。10 時 21 分、青森 30km、大和山 11km の看板前を通過。10 時 30 分、青い橋（135 歩）を渡り、東京まで 708km 地点（平内町清水川字権十郎新田）を通過。10 時 36 分、曇り空から晴れとなる。現在の気温は 14℃とあった。10 時 56 分、民家から津軽三味線が聞こえてくる。11 時 7 分、東京から 710km 地点を通過。11 時 18 分、青い森鉄道を道路下にする。すなわち、鉄道の左側となる。



カメラが異常、夜越山森林公園前



新しいチップでリカバリー

11時38分、夜越山森林公園前でデジカメに異常事態が発生する。メモリーチップに原因。シャッターが押せない。試行錯誤しながらデジカメの機嫌を撮るが修復は不可能。頭の中が真っ白となる。急遽コンビニにメモリーチップを販売しているのではと思いつく。12時2分、カメラの正常を祈り、サークルK（小湊店）でチップ（1,580円）を購入する。早速、チップを入れ替えて、デジカメの撮影に挑戦する。結果リカバリーに成功し、ほっとする。店を出る際、小湊駅の道筋を教えて頂く。12時9分、みちのく銀行の交差点を右折した先に、小湊駅（12時25分）があった。途中、郵便局、青い森信用金庫、青森銀行があった。



小湊駅

12時26分、小湊小学校前を通過。12時50分、「喰道楽あたご」に入り、イカ刺身定食（800円）を頼む。新鮮な刺身で噛み応えがあり、アイスクーヒー付で大満足。先客が数名いた。私が出る頃、常連と思われる客が数名入ってくる。この店で30分程度休息させてもらう。13時22分、青森24kmとある道路標識前を通過。13時38分、藤沢（東京から715km

地点)を通過。13時43分、500m位先に青い森鉄道の車両をデジカメに収める。13時52分、「農魂は国を守る」という石造前(平内西部土地改良区)を通過。私の思いと同じなので強く印象に残った。13時59分、実家(白山)にあるような山を見つける。



あたご



実家近くにあるような山

14時、現在の気温が16℃とある表示前を通過。14時11分、ベストを脱ぐ。14時16分、第2山口踏切(貨物列車が通過)を越えて、鉄道の左側となる。少し戻る。14時20分、西平内駅に到着。うっかりすると、未踏破となる駅であった。しなの鉄道の平原駅のような環境であった。再度、先程の踏切を横切り幹線道路に戻る。14時26分、盛田川を渡る。右手前方に面白い格好の森を見つける。14時31分、道路下に鉄道があった。これより鉄道の右側を歩く。15時15分、陸奥湾が見えてくる。これより暫く、風光明媚な海岸線を歩くことになる。海は太陽の光を受け、コバルトブルーになっていた。東京から722km地点を長い橋の上で迎える。15時51分、八大龍王神前を通過。15時55分、浅虫観光ホテル前を通過。16時2分、浅虫温泉郵便局前を通過。16時、下校中の小学生の児童に挨拶される。



西平内駅



コバルトブルーの陸奥湾



浅虫温泉駅

16時6分、浅虫温泉駅にやっと到着する。駅前の右側には足湯の設備があった。温泉街を通り抜ける。正面には、陸奥湾に浮かぶ小島があった。16時23分現在の気温は17℃であった。再度風光明媚な海岸線を歩く。16時25分、188歩あるトンネルを通過する。16時42分、道路下に鉄道があった。これより鉄道の左側を歩く。16時48分、浅虫中学校看板前を通過。17時7分、935歩ある久栗坂トンネルを通過する。気温は18℃となっていた。17時24分、矢田を通過。



久栗坂トンネル

17時52分、150歩ある野内川（新野内橋）を横切る。残念ながら、野内駅と矢田前駅が未踏破となる。18時過ぎ、線路を下にした辺りで、ウォーキング中の70歳位の鈴木氏と対面する。私の趣味の名刺を渡したところ、親切にも東青森駅手前まで案内頂く。私の名刺は会社後輩の越塚氏にお願いし作ってもらったもので、何人かの友人にも差し上げ、好評を得ている。このアイデアは立命館後輩の木内氏の名刺をヒントに思いついたものである。この発想は、平成24年7月29日（日）、立命館神奈川校友会の講演での出口氏との発想とも一致していた。鈴木氏とウォーキングに関する話を中心に1時間位お付き合い頂く。私の情熱が通じたのであろう。



矢田



小柳駅

18時50分、「こだわり鉄道つたい歩き」の旗を持った格好で、小柳駅前で鈴木氏に写真を撮ってもらう。この旗の登場は最初で最後となる。鈴木さんに八甲田山を教えて頂く。少し雲に隠れていたが、遠くに見ることができた。八甲田山(映画)で登場する高倉健氏、北大路欣也氏の名前が咄嗟に出てくる。



東青森駅



青森駅

19時20分、東青森駅の道筋を教えて頂き、鈴木氏と別れる。ここでも「旅は道連れ世は情け」を実感する。19時30分、東青森駅に到着。辺りは日没の状態であった。19時41分、75歩ある駒込川(みなみ桜川橋)を渡る。20時5分、筒井橋を渡る。暗中模索で通行人に聞きながら、21時やっと青森駅に到着する。駅前のCoCo壺番屋で大好物の野菜カレー(1,000円)を摂り、そしてファミリーマートでつまみを買って東横インに戻る。21時28分であった。本日の営業キロは38.1km、万歩計は75,312歩であった。本日は小湊近郊でデジカメトラブル、そして鈴木氏との対面等ウォーキングの筋書きのないメイクドラマである醍醐味を充分堪能でき充実した一日であった。

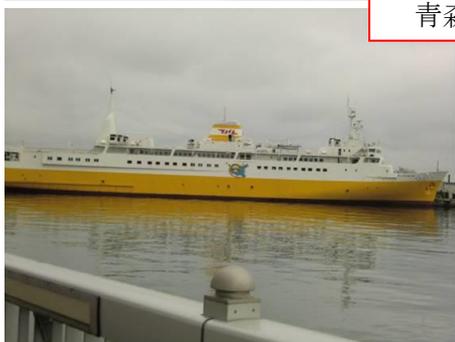


#### 第4節 3日目：6月15日（金）：狩場沢～上北町 晴れ

4時頃目が覚める。ipodの充電用の機具をフロントに貸して頂き、部屋に戻る。本日の作戦を練る。朝食までの時間を利用し、20分位ホテル近郊（海岸を中心）を散策する。八甲田丸をデジカメに収める。7時よりホテルで朝食を摂り、7時半頃チェックアウト。



青森駅



昨日と同様、7時52分の電車で狩場沢駅に向かう。昨日未踏破駅を電車から撮影する。8時4分、矢田前駅を。8時7分、野内駅を。それぞれの駅で高校生が下車する。臨時の乗務員が下車対応をしていた。2両編成の電車は、8時40分、狩場沢駅に到着する。



東横イン



青森駅前



矢田前駅



野内駅

陸奥湾からの風が強くベストを着込む。肌寒かった。本日は昨日と反対の進路となる。本日も曇り空のため、海はコバルトブルーではなかった。潮の匂いが込み上げてくる。9時3分、狩場沢漁港があった。9時18分の気温は13℃であった。肌寒いはずである。海岸線の漁港風景を見ながら歩く。多数のホタテ漁の看板を目にする。9時22分、平内町（ひらない）から野辺地町（のへじ）に入る。



狩場沢駅



狩場沢漁港

ここでの東京からの距離は700kmであった。9時26分、馬門（まかど）御番所前を通過。ここで暫く立ち止まる。9時29分、東京から699.9km地点に到達。9時39分、下北半島への道路標識を目にする。その先で科学技術館前の看板を目にする。9時42分、下北半島と野辺地への分岐する馬門交差点に到達。しかし、暫く下北半島への道（海外線より）も国道4号線と並走するが。10時14分、二十平という地名を通過。10時30分、野辺地こ線橋を通過し、鉄道を横切る。鉄道の右側となる。10時41分、枇杷野交差点から国道4号から

一般道に入る。10時45分、種畜場通踏切を横切る。10時48分、祇園囃子が記載された濃いグリーンの趣ある枇杷野橋を渡る。10時53分、本日最初の野辺地駅に到着。



枇杷野橋



野辺地駅

この駅近郊には、「日本最古の鉄道防雪林」があると、青い森鉄道のチラシに記載されていた。野辺地からはJR大湊線（単線・ディーゼル）が、下北半島の海岸線に沿って大湊まで続いていた。ここで暫く立ち止まり記念写真を撮る。野辺地観光館もあった。広々としたスペースをもつ駅前には自分が想定しているよりは賑やかでなかった。11時5分、再度枇杷野交差点に戻り、国道4号線を歩く。40歩ある枇杷野川を渡る。11時11分、野辺地町松ノ木平通過。11時38分、盛岡157km、十和田28km、七戸12kmの道路標識前を通過。11時46分、東北町に入る。



みちのく



11時55分、学校法人光星学院のバスが停車していたドライブイン「みちのく」には入り、昼食（かきそば定食：750円）とする。長距離運転手の姿が多かったような気がする。20分位でこの店を出る。女将さんに、「千曳は近いですか」と尋ねる。「信号を左折し、少し行った先にあります」との回答を得る。しかし、歩いた後で感じたのであるが、これは歩きではなく車での話しであった。それ故、幾ら歩いても千曳駅は見えない状況となる。先程の交差点（東北町石坂）には、12時19分に到着。東北町は「駅伝の町」とあった。12時23分、三沢30km、乙供（おつとも）12kmの道路標識を目にする。12時50分、東北町立

千曳小学校前を通過。ここからでも千曳駅への距離はかなりあり、遠かった。



東北町石坂



千曳駅

12時58分、三沢28km、下田38kmの看板を目にする。13時25分、やっと千曳駅に到着する。駅は道路下にあった。全く民家はなし。このような駅は初めてであった。下り電車がやってくる。夜であれば、この駅は未踏破となろう。トンネルを抜けた先に駅があった。13時41分、「日本中央の碑」前を通過。山間を歩く。14時27分、上北変換所前を通過。薄日がさしてくる。14時38分、民家が見えてくる。14時45分、赤川（大箕屋橋：おおはたや）を通過。水田が広がる。香川の実家に比べ、田植えが1ヶ月位遅い感じだ。15時20分、天間林道踏切を横切る。200～300m位行き過ぎていた。



乙供駅



乙供駅には15時25分到着。排水路には駅伝の町を象徴する「アニメ」が描かれていた。再度、天間林道踏切に戻る。鉄道の左側を歩く。ここから6.9km先の上北駅（発車時刻17時11分）を90分で目指すことにする。本日は30年数年振りに再会する野々口氏とのアポがあり時間との戦いとなる。ウォーキングとジョギングをしながらの旅となる。バックを背負ってのジョギングは厳しいものがあった。15時52分、一時的に七戸町のエリアに入る。16時15分、再度東北町へ。16時13分、万歩計で44歩の赤川橋を渡る。16時20分、293

歩の二ツ森橋（高瀬川）を渡る。この橋には米の収穫がデザインされていた。2日後の6月17日（日）に誤ってここまでやってくることになる。人生の神秘性を感じる。16時30分、八甲温泉前を通過。16時40分、28歩ある花切橋を通過。16時46分、花向踏切を横切る。16時50分、グリーン屋根の上北駅（開業88周年）には16時48分到着。



八甲温泉



上北駅

ジョギングにより、どうにか17時11分発の電車に間に合うことができる。電車で八戸駅の東横イン（403号）に向う。ホテルは17時58分到着。本日の営業キロは26.4km、万歩計は43,201歩だった。19時、ホテル前で野々口氏と待ち合わせる。三十数年振りであったが、髪も黒々としており直ぐ判明できる。19時より深夜2時頃まで野々口氏と旧交を温める。すべてタクシーで移動。1次会は三十三間堂、二次会より道、三次会伽羅舎（がらしや）なる。タクシー（1,160円）でホテルまで移動。昔話に花が咲く。



三十三間堂



伽羅舎

## 第5節 4日目：6月16日（土）：一戸～八戸 晴れ：

深夜2時まで、野々口氏と旧交を温めたのに関わらず、4時過ぎに目が覚める。本日の予報は晴れ。明日は曇りのち雨であったので、当初の予定（上北町＝下田）を変更して、一戸＝八戸間43.4kmに挑戦する。もしできれば、平成12年5月ウォーキング開始以来、記

録更新となる。八戸発6時18分(快速)で一戸まで移動することにする。ダイヤの関係から東横インでの朝食はパスする。一戸駅には、7時1分に到着。曇り空の中での歩きとなる。



東横イン八戸



一戸駅

一戸駅はかつて活気があったのであろう。駅舎も大きい。しかし、駅員もいないし、非常に寂れた感じの駅前風景であった。7時15分、旧奥州街道前を通過。赤いもりしん(盛岡信用金庫)、岩手、郵便局の一戸支店があった。7時23分、88歩ある万代橋を渡る。7時38分、県立一戸高校前を通過。近くに岩手県北バスとJRバス東北の蒔前のバス停があった。4号線に入る。7時48分、青森133km、十和田61km、二戸8kmの道路標識があった。7時52分、東京から605kmの地点に達する。7時55分、晴れとなる。8時、一戸町大越田での現在気温は16℃であった。8時22分、鳥越観音前にやってくる。この近郊には東北自然歩道というウォーキングのコースがあった。8時30分、鉄道を横切る。近くにはトンネルがあった。8時43分、二つの巨大岩があった。この岩に気をとられ、この近郊で大事な「こだわり鉄道つたい歩き」と記した旗をロストする。暫くショック状態となる。



東北自然歩道



巨大岩

9時23分、新幹線停車駅でもある二戸駅に到着する。モダンな駅舎であった。「ひめぼたる」と記した下水蓋があった。9時38分、大村交差点より4号線に入る。9時45分、福岡こ線橋を横切り、鉄道の右側に出る。9時52分、青森125km、十和田53km、三戸17k

mの道路標識前を通過。東京まで 612 k mの日金橋 (9 時 53 分) 通過。朝快速でパスとなった斗米 (とまい) 駅には 10 時 16 分到着。



二戸駅



斗米駅

親切にもガソリンスタンドの店員さんにこの駅を教えて頂く。駅への進路は、くねくねした複雑な道筋であった。駅前にはファッションしまむらがあった。10 時 39 分、201 歩ある十文字橋を渡る。道路下には、二戸市街が広がっていた。10 時 44 分、東京から 615 k mの地点に到達。10 時 56 分、金田一交差点に到達。ここにもヤマダ電機があった。11 時 1 分、616 k m地点に到達。11 時 39 分、水梨屋で手打ちラーメン (雑穀米) を食べる。この店に常連客が 1 名お酒を楽しんでいた。女将さんに帰り際に歩きについて話す。「凄い」と褒めて頂く。11 時 48 分、金田一温泉駅に到着。11 時 54 分、130 歩ある馬淵川 (府金橋) を渡る。11 時 57 分、鉄道下を潜る。「りんごとアユの里」を記した看板前を通過。12 時 11 分、313 歩ある下山井大橋を渡る。12 時 21 分、ベストを脱ぐ。薄日となる。279 歩ある姉滝大橋を渡る。12 時 28 分、現在の気温は 20°Cであった。



水梨屋



金田一温泉駅

12 時 58 分、青森県三戸町へ入る。13 時 2 分、目時交差点から目時駅に向う。目時駅には 13 時 21 分到着。再度、目時交差点には 13 時 41 分となる。これより国道 4 号線を歩く。

13 時 50 分、更に上着を脱ぐ。東北シリーズで感じたことが三つある。

- ① 駅舎には戸があり、6 月中旬でも締め切る。
- ② 道路が広い。
- ③ スベリ止めの砂をストックするポストがある。

14 時 31 分、三戸町ラジコン公園前通過。14 時 45 分、133 歩ある三戸橋（熊原川）手前で関西桜紫会の大塚さんより、7 月 21 日（土）～22 日（日）開催の第 47 回わいわい会（犬山城散策）の参加人数の連絡を頂く。8 名とのことであった。



目時駅



ラジコン公園

三戸駅への路、4 号線から早く下り、市内を散策するコースを選択した結果、遠回りの歩きとなる。14 時 58 分、三戸バス営業所（南部バス）前を通過。15 時 1 分、三戸警察署前を通過。15 時 13 分、三戸大神宮前を通過。15 時 16 分、路を尋ねたところ、「近くまで行きますので、送らしましょうか」と親切な人と対面する。何人もの人に尋ねながら進む。15 時 28 分、61 歩ある熊原川（黄金橋）を渡る。15 時 55 分、116 歩ある空色の住谷橋を渡る。16 時、やっと三戸駅に到着する。



住谷橋



三戸駅

本日予定の半分経過。後 20 k m が必要。三戸駅から諏訪ノ平駅への方向性が不安となり、現場で働いていた人に私が歩く方向性をお尋ねする。結果は正しかった。しかし、三戸へ

の道筋を考えれば自信がなくなっても止むを得ないだろう。それにしても30分位は遠回りしたものだ。当初の予定通り、国道4号線を軸にすれば、三戸駅への路は楽であっただろう。道路標識に惑わされたのが失態。大いに反省。馬淵川に沿って歩く。16時21分、万歩計で151歩ある馬淵川を渡る。16時36分、南部町保健福祉センター前を通過。17時15分、馬淵川沿いに諏訪ノ平駅がある。



諏訪ノ平駅

近くに諏訪神社があり。山道を歩く。18時1分、東京から640km地点に到達。18時19分、剣吉（けんよし）交差点に到達。青森や十和田方面への国道4号線から別れ、八戸方面に向かう国道104号線を歩く。ここから八戸まで18kmとあった。「これからまだ4時間半が必要か」と大きなダメージを受ける。八戸が23時過ぎの可能性があるので。剣吉駅には18時41分到着。



八戸への路



剣吉駅

ここで念のため、八戸駅までのダイヤをメモする。場合によっては、歩きを断念し八戸駅まで電車でも止むを得ないと考えたからだ。ここからは日没の世界でのウォーキングとなる。19時5分、気温は19℃であった。19時13分、鉄道を横切り、鉄道の右側となる。以降、八戸駅までポジションは変わらず。ここから八戸までジョギングをおりませながら歩く。19時31分、苫米地駅（とまべち）に到着。丁度三戸行きの電車がやってくる。20時6分、八戸市に入る。歩道が草のジャングルとなっており、歩きにくかった。また、街灯もなく、節電とは全く無関係の状況であった。車のライトを足がかりに手探りに進む。



苫米地駅



北高岩駅

20時15分、北高岩駅に到着。新幹線に面してあった。営業キロだと、八戸まで残すところ4.9km、しかも途中駅はない。これで何とか21時半頃到着できる見込みがたち、安堵する。分岐点で左方向の路を選ぶ。すなわち、鉄道に沿った路を選ぶ。路なりに歩くと、青い東横インが見えてくる。駅の方向性もわかる。東横インまで道のり、商店の姿は全く見かけず。蛙の合唱が、暗闇の水田から聞こえてくるのみであった。



東横インの明かり



八戸駅

八戸駅の手前で小雨となる。日本生命、ニッポンレンタカー、岩手銀行前を通過。その先に案内役を務めてくれた東横インがあった。八戸駅には21時35分到着。咽がからからとなるが、途中、自動販売機はなし。ホテルには21時44分到着。万歩計は86,930歩であった。ホテルに面した郷土料理「天竜」でイカ刺身定食(1,000円)を頂く。生ビールを飲みながら八戸の味を楽しませてもらう。本日の営業キロは、これまでの記録更新し、43.4kmとなった。大事な旗をロストしたが、適度なジョギングあり、醍醐味を味わう迂回あり、美味しい食事ありで、充実した一日であった。今回の歩きは、これからのウォーキングの中でも強く印象に残りそうである。区間も覚えやすい。「**いちかばちか**」の**一戸=八戸**なので。しかも「寝不足」という最悪の環境の中で。